

9月4日（水）長浜農業高等学校を訪問しました！

対談テーマ

地域等との協働による学びの充実と県立高等学校

令和5年度より、アグリイノベーション・ハイスクール事業の指定校として、地域の農業関連団体と協働しながら、農業経営に係る見方・考え方を学び、地域の課題解決に向けて主体的に活動し、「農」の力で魅力ある街づくりに寄与する人材の育成に取り組む特色ある教育活動を見聞し、地域の農業関連団体等との協働になる学びの充実や県立高等学校の魅力化について考えました。

訪問した教育委員

窪田 知子 委員 野村 早苗 委員 石井 太 委員 塚本 晃弘 委員



県立長浜農業高校について



意見交換より

委員：今回の学びや普段の実習など、中学校の時よりも大人との関わりを持つ機会が増えていと思いますが一緒に活動することをどう受け止めていますか。

生徒：今回の学習を進める中でも琵琶湖博物館の学芸員の方や琵琶湖環境部琵琶湖再生課の方にお話をお聞きし、専門的な知識が増えました。また普段の実習では販売会などで地域の方との交流があり、楽しいです。

委員：助成金をいただくためのプレゼンに至るまで苦労やよかったことなど教えてください。

生徒：外来魚を肥料にするまでの工程を学ぶ中で肥料の匂いが臭く、実用化するにはどうすればいいか考えることが難しかったです。外来魚の肥料を活用し、作物の成長具合を観察することが楽しかったです。

園芸科3年生に対談に参加していただきました。高校生が考える琵琶湖保全をテーマとして、世界農業遺産に認定された「びわ湖システム」の学習で知った外来魚の有効活用について発表を聞きました。駆除した外来魚を肥料として数種類の野菜を栽培した結果、肥料価値が高いことが報告され、学びを深めるために専門家に直接、お話を聞いたり、県外の高校生と交流したりといった農業高校ならではの魅力についてお話を聞きました。

委員：他の県の高校生と交流する中で、長浜農業高校の魅力に気づいたことはありますか。他校から学んだことはありますか。

生徒：長浜農業は地域の人と深く関われる点が良いと思います。他の高校では、商品にならない作物をかりんとうなど別のものに作り替え、SNSで投稿して地域の人以外にもアピールされていて自分たちでもやってみたく感じました。

委員：生徒を指導するにあたり、どんな力を身につけて欲しいと考えておられますか。

教員：農業に携わってくれと嬉しいですが、社会に出た時にあきらめずに頑張れる力をつけてほしいと願っています。